

編集後記

編集作業2年目となりました。今回が第27巻となります。地方の研究会がこれだけ長く会誌を発行し続けることが出来たのは、先輩たちの努力のおかげであり、これをさらに将来へと続けるための努力が必要とされています。2月の研究会に会誌発行が間に合うように、編集者は忙しかったと思います。第27巻の編集作業からは、8月の研究会後に前半の編集作業を、年末までには後半の編集作業と、作業能率を効率化しようと思っていましたが、なかなか思うようには運びませんでした。

巻頭言に当会副代表の土田先生が「この研究会を中心にすえ、大学の垣根を超え、北海道で働く整形外科医を対象として、良い意味で一つの医局のように『教育としてのカンファレンスの場』を作り、さらに色々な研修会を開催し、また研修情報を提供する。」と書いているように、研究会が有効に機能し、また会誌にてその情報を有効に提供できるよう努力してまいりますので、ご協力お願いいたします。

第26巻に引き続き、第121回・第122回の研究会報告の他に、第41回のSOTCのプログラムと抄録、-2011年度 北海道内における外傷領域の研究会・セミナー開催日程の抜粋-を参考に載せましたので、多くの先生に参加していただき道内の整形外科外傷領域のさらなる発展の場としてそれぞれの研究会・セミナーが機能していければ幸いです。

今回の教育研修講演は、第121回が『踵骨骨折の病態と治療』を奈良県総合リハビリテーションセンターの北田 力先生に、第122回が『整形外科領域の感染症を考える～MRSA 感染症を中心に～』を愛知医科大学の三嶋先生に講演していただきました。三嶋先生はお忙しく投稿はいただけませんでしたが、当日参加できた先生には明快な text となると思います。ありがとうございました。

(畑中 渉)

編集係 畑中 渉
辻 英樹

北海道整形外科外傷研究会会誌 第27巻

平成23年3月31日

編集・発行 北海道整形外科外傷研究会

代 表 佐久間 隆

事 務 局 札幌市中央区北11条西13丁目

市立札幌病院 整形外科内

(昭和60年3月2日 創刊)

印 刷 富士プリント株式会社